



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ
コード番号 6239 URL <https://www.nagaokajapan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	5,485	22.1	679	11.7	684	△4.0	557	12.0
2022年6月期第3四半期	4,490	△0.2	608	△2.2	713	0.5	497	2.6

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 449百万円 (△34.0%) 2022年6月期第3四半期 681百万円 (△3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	79.06	—
2022年6月期第3四半期	70.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	8,189	5,279	64.5
2022年6月期	7,421	4,970	67.0

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 5,279百万円 2022年6月期 4,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	23.3	1,140	44.8	1,160	17.0	800	0.6	113.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	7,078,400株	2022年6月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	29,199株	2022年6月期	29,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	7,049,201株	2022年6月期3Q	7,049,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、経済活動の促進が期待される一方、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、急激な為替の変動や物価の上昇などにより、景気下振れが懸念される状況が続いています。

このような状況の下、当社グループでは、2022年6月期から3カ年を計画期間とする中期経営計画「FLIGHT PLAN: VISION 2024」のもと、「既存事業の深化・拡充」「戦略的パートナーとの連携」「新規市場参入」に取り組み、持続可能な成長を目指しております。

水関連事業では、国内において上水道や食品・農業に関連する分野の水処理を幅広く行い、海外においては、これまで積み重ねてきた実績を基盤として、当社の「取水」「水処理」技術をモデル化し展開することで事業拡大を推し進め、エネルギー関連事業と並ぶ収益基盤にすることを目指しております。また、2022年7月1日付で、関東圏で水処理に係る設備設計・工事を主力事業としている矢澤フェロマイト株式会社（以下「矢澤フェロマイト」という。）を子会社化し、収益基盤とすべく取り組んでおります。

エネルギー関連事業では、中国経済成長の鈍化、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇等、様々な要因により、各社とも新規プラント設備投資には慎重になっております。この状況下、新規プラント建設計画に関する継続的な情報収集、既存プラントの更新需要に対する積極的な営業活動、顧客やプロセス・オーナーとの関係構築・深化に努め、受注機会を逸することがないよう取り組んでおります。また、安定的に収益を確保できる体制の構築とグループ生産体制の最適化の推進等によりコスト低減を図り、価格競争力を高め、受注機会の拡大と主力製品以外のマーケットの拡大、定期メンテナンスサービスの強化等を行うことを目指しております。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,485,466千円（前年同期比22.1%増）、営業利益679,627千円（前年同期比11.7%増）、経常利益684,963千円（前年同期比4.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益557,296千円（前年同期比12.0%増）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

① 水関連事業

取水分野では、各地で進められている取水設備の老朽化や耐震化に伴う改修工事等により、取水スクリーンの需要は底堅く、堅調に推移しました。水処理分野では、矢澤フェロマイトを連結子会社化したことにより売上の増加に寄与した一方で、事業規模拡大に向けた人員増強や営業活動の強化に伴う経費の増加等があり、売上高1,804,272千円（前年同期比83.7%増）、セグメント利益105,523千円（前年同期比46.3%減）となりました。

② エネルギー関連事業

エネルギー関連事業においては、中国経済成長の鈍化、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇等、様々な要因により顧客各社とも新規設備投資には慎重になっております。当社グループとしては、新規プラント建設計画に関して継続的に情報収集に努めるとともに、既存プラントの更新需要に対して積極的に営業活動を進めており、当期において数件の大型案件の受注を獲得しております。また、2022年12月に中国でゼロコロナ政策が解除されたことに伴い那賀設備（大連）有限公司の従業員の多くが罹患し、操業度が低下する事態が一時的に生じましたが、その後回復し、納期遅延を出すことなく製造を進めることができております。これらの結果、売上高3,681,193千円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益943,942千円（前年同期比15.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,189,748千円となり、前連結会計年度末に比べ768,026千円増加しました。これは主に、現金及び預金が371,495千円減少した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が752,422千円、仕掛金が159,701千円、電子記録債権が157,545千円、土地が149,095千円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は2,910,576千円となり、前連結会計年度末に比べ459,015千円増加しました。これは主に、未払法人税等が160,453千円、1年内返済予定の長期借入金が129,476千円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金が477,166千円、短期借入金が155,633千円それぞれ増加したことによるものです。

純資産合計は5,279,172千円となり、前連結会計年度末に比べ309,010千円増加しました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が140,984千円、為替換算調整勘定が134,430千円それぞれ減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が557,296千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2022年8月9日の「2022年6月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,118,522	1,747,027
受取手形、売掛金及び契約資産	2,444,062	3,196,484
電子記録債権	295,966	453,511
商品及び製品	11,547	13,544
仕掛品	42,120	201,822
原材料及び貯蔵品	501,931	410,359
その他	301,525	426,490
貸倒引当金	△3,445	△5,586
流動資産合計	5,712,229	6,443,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	758,969	711,656
機械装置及び運搬具（純額）	371,909	301,044
土地	—	149,095
リース資産（純額）	54,758	44,843
建設仮勘定	2,660	7,060
その他（純額）	70,299	53,060
有形固定資産合計	1,258,597	1,266,760
無形固定資産		
のれん	—	20,348
その他	352,004	314,669
無形固定資産合計	352,004	335,018
投資その他の資産		
繰延税金資産	27,830	47,563
その他	71,061	96,753
投資その他の資産合計	98,891	144,317
固定資産合計	1,709,493	1,746,095
資産合計	7,421,722	8,189,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	403,554	880,720
短期借入金	929,305	1,084,939
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	184,000	54,524
未払法人税等	160,453	—
賞与引当金	—	78,491
役員賞与引当金	—	64,000
その他	524,410	434,364
流動負債合計	2,201,724	2,607,040
固定負債		
社債	—	25,000
長期借入金	123,600	162,941
退職給付に係る負債	78,118	80,721
その他	48,118	34,873
固定負債合計	249,836	303,536
負債合計	2,451,561	2,910,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	785,195	785,195
利益剰余金	2,395,252	2,811,564
自己株式	△20,106	△20,106
株主資本合計	4,413,582	4,829,895
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△6,726	20,402
為替換算調整勘定	563,305	428,874
その他の包括利益累計額合計	556,579	449,276
純資産合計	4,970,161	5,279,172
負債純資産合計	7,421,722	8,189,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,490,915	5,485,466
売上原価	2,796,622	3,725,003
売上総利益	1,694,292	1,760,462
販売費及び一般管理費	1,085,795	1,080,834
営業利益	608,497	679,627
営業外収益		
受取利息	8,499	3,028
為替差益	74,841	5,373
スクラップ売却益	27,894	8,304
補助金収入	12,929	15,333
その他	3,663	1,671
営業外収益合計	127,827	33,711
営業外費用		
支払利息	19,093	24,645
支払手数料	3,499	3,499
その他	58	230
営業外費用合計	22,651	28,375
経常利益	713,673	684,963
特別損失		
固定資産除却損	1,988	123
特別損失合計	1,988	123
税金等調整前四半期純利益	711,685	684,840
法人税、住民税及び事業税	208,315	143,158
法人税等調整額	5,626	△15,615
法人税等合計	213,941	127,543
四半期純利益	497,743	557,296
親会社株主に帰属する四半期純利益	497,743	557,296

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	497,743	557,296
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	8,941	27,128
為替換算調整勘定	174,746	△134,430
その他の包括利益合計	183,688	△107,302
四半期包括利益	681,432	449,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	681,432	449,994

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,508,894	982,020	4,490,915	—	4,490,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,508,894	982,020	4,490,915	—	4,490,915
セグメント利益	817,083	196,677	1,013,761	△405,263	608,497

(注) 1. セグメント利益の調整額△405,263千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,681,193	1,804,272	5,485,466	—	5,485,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,681,193	1,804,272	5,485,466	—	5,485,466
セグメント利益	943,942	105,523	1,049,465	△369,837	679,627

(注) 1. セグメント利益の調整額△369,837千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。